

一人一人の個性を輝かせ、主体的に学ぶ子供の育成 ~つながる 挑む 考動する~



河内小だより



三次市立河内小学校 令和8年2月号

～豊かな心を育てよう～道徳参観日を行いました！

- 1月29日（木）道徳参観日を行いました。道徳科の学習は週に1時間あり、読み物教材を通して、教材の登場人物と自分を重ね合わせながら、「自分だったらどうするかな？」「自分もこんな経験があったけど、その時どんな気持ちだったかな？」「どうすればよかったのかな？」などと考えていく学習です。
- 道徳科の学習に正解はなく、友だちの考えや気持ちを聞いたり、交流したりすることを通して、自分の考えを広げたり深めたりする学習です。この先自分がよりよく生きていくためにはどすることがいいのかについて、自分の心を見つめ、弱い自分も認めながら考え、人として大切にしたい心を育てていく大切な学習です。
- この心を育てていく学習は、学校だけでは限界があり、家庭や地域と一緒に育てていくものだと思います。毎年道徳科の参観日を行っています。
- どうぞこれからも学校・家庭・地域が手を結び、共に子ども達の心を育てていく学習にご協力ください。



租税教室～税金について知ろう！～

1月28日（水）、三次法人会の方にお越しいただき、税についての学習をしました。税金の種類やその税金の役割や使い道について学習しました。

「税金の種類は何種類あるでしょう？」の質問に、すぐには答えられなかった子どもたち。何と約50種類あると聞き驚きました。国民が1年間に納める税金の総額は、23兆円。1万円札が体育館いっぱいになるくらいの額であることを知り、これもびっくり！

その税金はどんなことに使われているのかという学習では、自分たちの教科書や机、椅子などにも使われており、児童一人につき小学校6年間で使われる税金の金額は、約500万円だそうです。このお話を聞き、子ども達は、「自分たちが豊かに学校生活を送っているのは、税金のおかげだなと思いました。今まで以上に税金で支給されているものに感謝の心をもって使いたいと思います。」（5年 余平樹君の作文：一部抜粋）と感想を述べていました。



本年度の「税に関する絵はがきコンクール」において6年生の田上 瑛一郎君が努力賞を受賞しました。おめでとうございます！



2月8日（日）から雪が降り、河内の地域でもたくさん積もりました。9日の月曜日には、子ども達が歩道を安全に歩いてこれるようにと、小文町の田森亮さんと西河内の山下哲幸さんが吹雪の中除雪をしてくださいました。おかげで子ども達は安全に歩いて登校することができました。ありがとうございました。校庭に降り積もった雪で、子ども達は雪合戦やかまくら作りを楽しみました。